

公益社団法人 日本動物学会
平成 28 年度 第一回理事会議事録

- 1.開催された日時 平成 28 年 7 月 22 日 (金) 12 : 00-12 : 45
- 2.開催された場所 東京大学武田洋幸研究室
113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院理学研究科二号館
- 3 理事総数及び定足数
総数 18 名 定足数 9 名
- 4 出席理事数 9 名
(出席) 山下正兼、高畑雅一、出口竜作、武田洋幸、窪川かおる、沼田英治、倉谷 滋、
富岡憲治、尾崎浩一
(欠席者) 稲葉一男、井口泰泉、高畑雅一、蟻川謙太郎、竹井祥郎、小泉修、佐藤矩行
田村宏治、筒井和義
(監事出席)阿形清和、長濱嘉孝

議題

- 第一号議案 .平成 27 年度事業報告 (案) について
- 第二号議案 平成 27 年度決算書(案) について
- 第三号議案 川口基金による支援について
- 第四号議案 2017 年度生命科学系学会合同年次大会について
- 第五号議案 男女共同参画連絡会の大規模アンケート設問について

審議事項

- (1) 第一号議案 平成 27 年度公益社団法人 日本動物学会事業活動報告 (案) について

(武田会長) 第一号議案は事業活動報告についてです。蟻川庶務がサハリンへ出張であるため、代わりに沼田副会長にご説明を頂きます。

(沼田副会長) 平成 27 年度事業活動を本部としての活動、支部そして委員会活動の御報告に沿って、まとめています。先に資料を送付してありますが。内容などもう一度ご確認いただきたいと思います。併せて、7 月 19 日 (火) 長濱、阿形両監事に監査をお願いし、その監査報告もご覧ください。簡単に説明をします。

平成 27 年 11 月内閣府の立ち入り検査を受け、本会は、3 か月おきに「理事会を開催し、理事報告を行う」ことについて、指摘を受けたため、理事会の開催について見直しを行い、3 月、6 月、8 月、9 月 12 月に理事会を開催することとしたこと、また、公益化の折、学会賞、奨励賞等の「会員を対象とした賞」は公益活動から外した。しかしながら、内閣府は、「動物学の新興を目指すもの」と考えられると説明を受けたために、今年から、各賞を事業活動に記載しています。

なお、国際会議を控え、広報委員会、I T委員会、国際交流委員会等をはじめとして、学会全体の活動は活発であったことも付け加えます。

(武田会長) では、平成27年度 公益社団法人 日本動物学会事業報告(案)をお認めいただけますでしょうか。挙手をお願いしたほうが良いので、挙手をお願いします。はい、ありがとうございます。では、事業報告案は承認されました。

- (2) 第二号議案 平成27年度 公益社団法人 日本動物学会 決算報告書(案)について

(武田会長) 引き続き、平成27年度決算報告案について、出口会計担当理事から、ご説明を頂きたいと思います。では、出口理事、お願いします。

(出口会計担当理事)

今期は、150万円の科学研究費繰り越し分があったが、ZLのAPC460万円を支払いながら、堅調な支出入状況であったと言えます。それは、隔月刊でのZS出版費が決算書に反映され、出版費支出の縮小は大きかったと言えます。同時に、BioOneからの購読料は、円安にも助けられ、著作権収入と合わせて720万円ほどであり、ZS出版は、「会費からの負担分は0」となり、ジャーナル出版活動収入(国内外大学図書館、著作権収入、BioOne購読収入)840万円で賄うことができました。しかし、会費収入は、毎年微減となっていることは、見逃してはなりませんし、特に会費請求後、今年の5月、6月の前納分納入が悪く、前受会費は前年比で200万円ほど、納入金額は低かったこともあります。

(武田会長) 皆様、いかがでしょうか? ご質問はありませんか。

では、平成27年度決算報告について、ご承認いただけるか決議しますので、賛成の方は、挙手をお願いいたします。ありがとうございます。全員賛成で承認されました。

(武田会長) 続いて第三号議案ですが、これは、メール審議をお願いし、理事の皆さまからご承認を頂いた件です。国際会議に11月14日から参加する「学会学生会員」で、ポスター発表をする会員の参加費10000円を川口基金から支援をしようというものでした。当初は100名としたのですが、全日程参加学生数279名の内、条件を満たす方は138名ということがわかりました。私としては、学生会員を支援するという趣旨からも、38名の方を支援しないというのではなく、できれば138名全員に支援を行いたいと考えます。川口基金は700万円ほどございますので、138名をお認めいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。なにかご意見がある方はお願いしたいと思います。では、賛成の方は、挙手をお願いしたいと思います。ありがとうございます。138名の方への支援を決定しました。

(武田会長) 第四号議案 2017年度生命科学系学会合同年次大会の協賛についてです

が、6月10日の理事会でもお諮りし、その折は、協賛の方向性で対応するという審議結果となりました。しかしながら、7月12日に協賛するかどうかを知らせてほしい旨目、メールが届きました。そのため、ここで審議をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。沼田先生どうでしょうか。

(沼田先生) 富岡先生、比較生理生化学会では、協賛しないとお決めになられたようですが、副会長であると聞いておりますので、その経緯など教えていただけないでしょうか。

(富岡先生) ええと、その件は、私のところでは、詳細を知りません。

(武田先生) 倉谷先生、いかがでしょうか。

(倉谷先生) シンポジウムがたくさん開催されている現状で、また、動物学会が大会を単独で開催できている今、分子生物学会等と参画をして、またシンポジウムを開催するということには、私は賛成できかねます。また、こういった状況は、自らが大会運営が難しくなった折に、呼びかけを行っているのではないかと考えられます。

(武田先生) 確かに、そういった考えはあると思います。ただ、この会の申し出は、たくさんの大会やシンポジウムが開催されているからこそ、集約を行う必要もあるのではないかと読めますが、どうでしょうか。

では、この件、おひとりおひとりに意志を確認させてください。山下先生、高畑先生は、賛成ですね。出口先生は？賛成。沼田先生は？賛成。倉谷先生は、反対。

武田と窪川先生は、賛成。富岡先生は、賛成。尾崎先生、いかがでしょうか？賛成ですね。では、この年次大会へは、協賛するとしますが、状況によっては、そこから抜けることもあり、慎重に参画するというを次期理事に引き継ぎたいと思います。

(武田会長) 最後になりますが第5号議案の審議に移ります。これは、窪川理事からですね。

(窪川理事) 資料をお送りしていますので、ご覧ください。男女共同参画連絡会では4年に1度行われているアンケートの年にあたり、その設問等について、委員会にお任せいただきたいという審議です。いかがでしょうか。

(武田会長) 窪川理事、ありがとうございます。皆様、いかがでしょうか。

では、委員会に検討を任せるとすることに賛成の方は、挙手ください。ありがとうございます。全員一致でそのようにお願いすることにいたします。

さて、監査からなにかございますか。

(阿形監事) 監査では、次期理事には、昨年11月の内閣府実地検査で指摘を受けた3か月おきの理事会開催と、その間に行った業務についての報告をお願いしたいと思います。

(武田会長) 阿形監事ありがとうございます。この代での理事会は、これが最後と

なりました。皆様には大変お世話になりました。(拍手あり)では、平成 28 年度第 1 回理事会は終わります。理事の皆様にはご参集をありがとうございました。

平成 28 年 7 月 22 日

議事録署名人 (代表理事)

武田 洋幸

議事録署名人 (監事)

長濱 嘉孝

議事録署名人 (監事)

阿形 清和